

令和3年度 小諸野岸幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

より良い園運営を行うため、園の自己評価の実施が法律で規定されました。これは国からの評価項目の指標に基づき園で取りまとめた自己評価です。

1. 園の教育目標

- (1) 明るく元気に遊べる子ども (2) 身近な自然に興味を持ち、自らかかわれる子ども
- (3) 豊かな感性を身につけ、自分の気持ちを表現できる子ども
- (4) 自分から挨拶し、人とかかわれる子ども

2. 本年度の重点目標

「あそび」 やってみよう！みんながあそびマスター 「しぜん」 どうして？なんで？だいはいっけん！
 「おはなし」 見て、聞いて、伝えよう！ 「あいさつ」 おはよう、さよなら、ありがとう！

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

| 項目 | 自己評価内容 | 評価 |
|--------------|---------------------------------------|----|
| 教育課程・指導 | ・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。 | B |
| | ・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。 | B |
| 保健管理 | ・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。 | A |
| 安全管理 | ・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。 | B |
| 組織運営 | ・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。 | A |
| | ・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。 | A |
| 研修（資質向上への取組） | ・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。 | A |
| | ・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。 | B |
| 教育目標・園評価 | ・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。 | B |
| | ・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。 | A |
| | ・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。 | B |
| 情報提供 | ・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。 | A |
| | ・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。 | C |
| 保護者・地域住民との連携 | ・PTAや学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。 | A |
| 子育て支援・預かり保育 | ・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。 | B |
| | ・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。 | A |
| 教育整備環境 | ・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。 | A |

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- (1) コロナ禍の中であったが、幼稚園でしかできない活動を工夫して行っていただいた。また子どもたちの感性を大切に、豊かに表現できる環境作りに努めていただいている。
- (2) 園門で子どもたちに声をかけてくださる園長先生や一人ひとりの名前を呼んであいさつしてくださる先生方の姿に安心して子どもを任せられる。子どもたちが先生方を信頼していることを感じる。
- (3) コロナ禍もあり、保護者と先生たちの話す機会や子どもたちを見る機会が少なくなってきた。ホームページを活用したり、お便りを活用したりしながら、園のよさを伝えていくことが必要である。
- (4) 教育課程や園目標については 職員の共通理解を図りながら全職員で同じ方向を向き取り組んでいくことが大切である。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 園庭で元気いっぱいあそぶ姿や夢中で制作に取り組む姿、絵本の読み聞かせに目を輝かせて聞き入る姿など子どもたちはのびのびと活動に取り組むことができた。
- (2) コロナ禍であったが、感染防止に努めながらできる限りの活動を行ってきた。次年度も子どもたちの学びを止めないように工夫しながら進めていきたい。
- (3) 安全管理、情報管理などの危機管理と子どもの安全な生活については全職員で意識を統一し徹底していく。
- (4) どんぐり教室やのぎともパークは引き続き大事にしていく。特に子育ての悩みや情報交換、子育てのニーズの把握などに活かしていく。